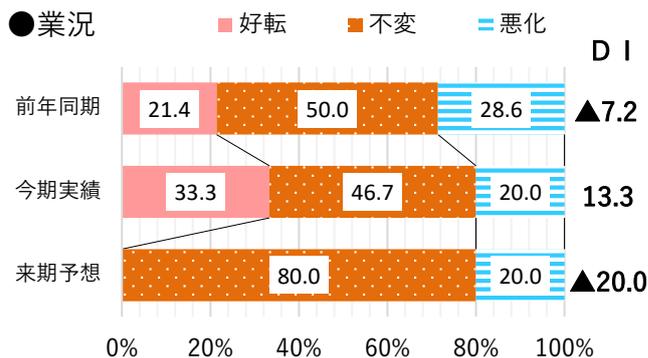


# 運輸・倉庫業

## 業況、売上、採算

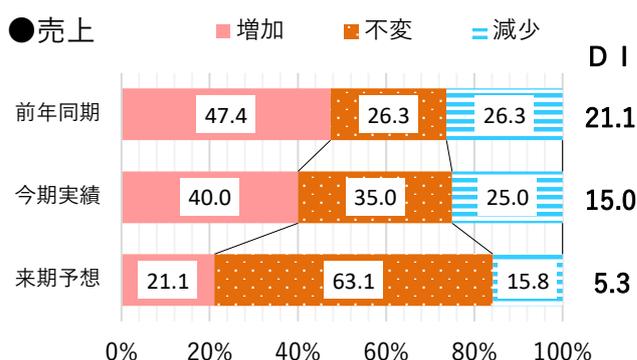
今期（2024.7～9）の業況判断DIは13.3で、前年同期（2023.7～9）と比べ20.5ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期（2024.10～12）は、業況が大幅に悪化し、マイナスに転じると予想しています。



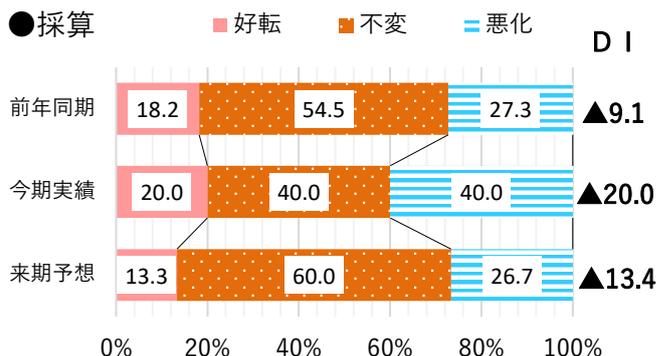
今期の売上高DIは15.0で、前年同期と比べ6.1ポイント低下しました。

来期は、売上の増加傾向が弱まると予想しています。

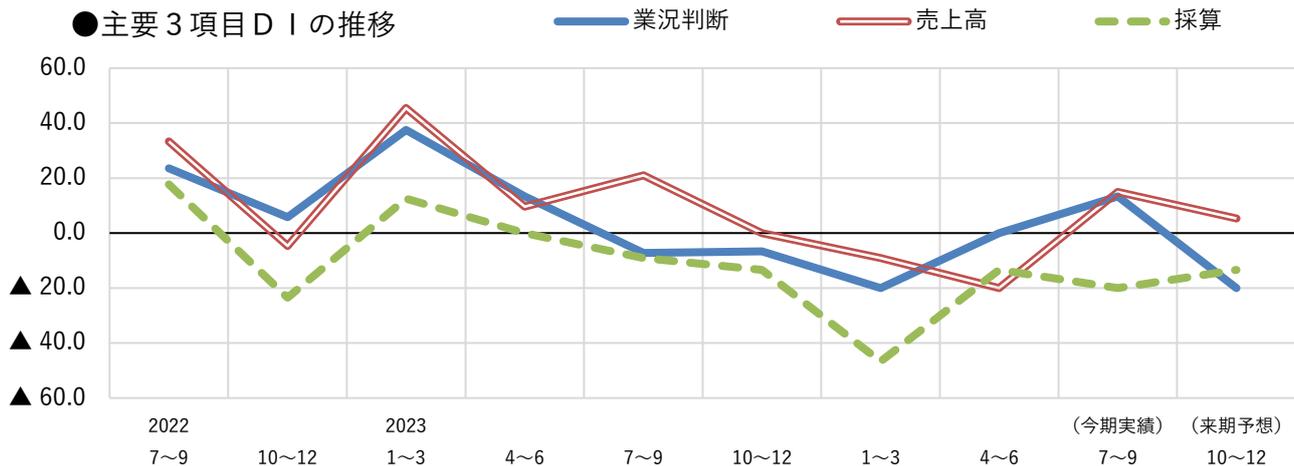


今期の採算DIは▲20.0で、前年同期と比べ10.9ポイント低下しました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



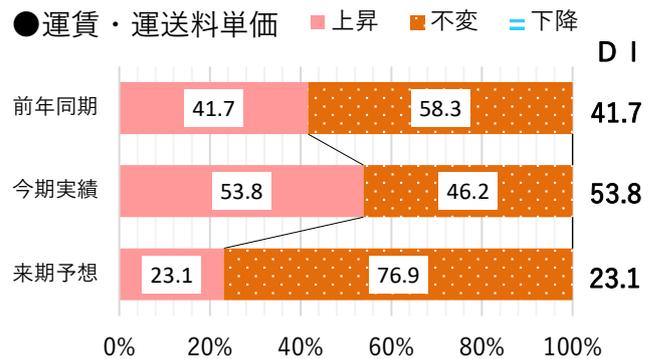
### ●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

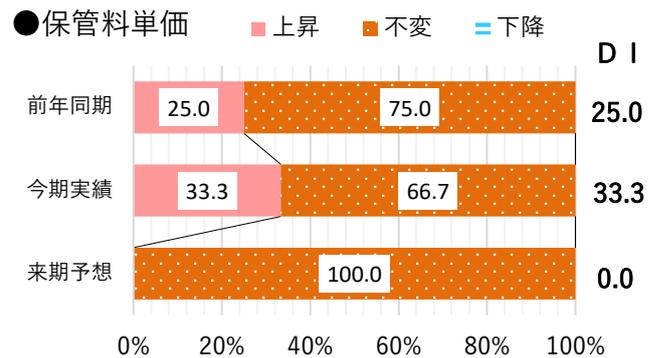
今期の運賃・運送料単価DIは53.8で、前年同期と比べ12.1ポイント上昇しました。

来期は、運賃・運送料単価の上昇傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の保管料単価DIは33.3で、前年同期と比べ8.3ポイント上昇しました。

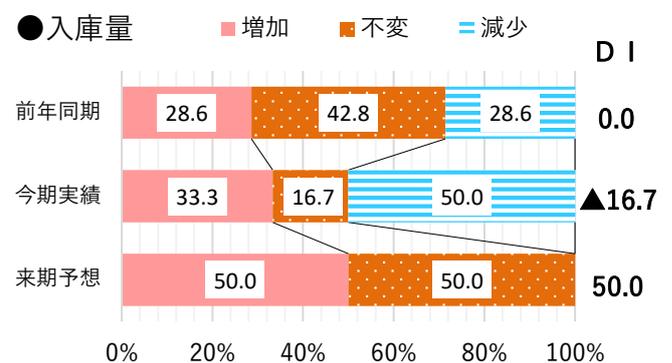
来期は、保管料単価の上昇傾向が大幅に弱まると予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

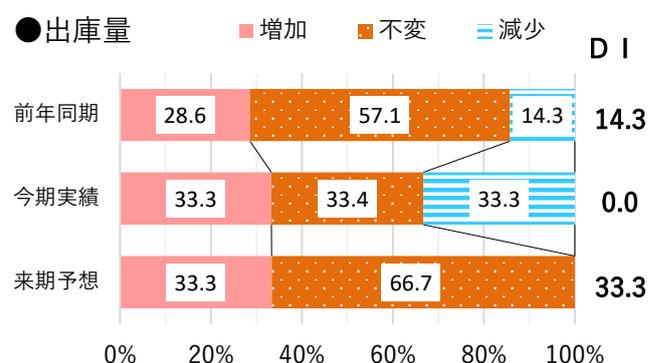
今期の入庫量DIは▲16.7で、前年同期と比べ16.7ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、入庫量が大幅に増加し、プラスに転じると予想しています。



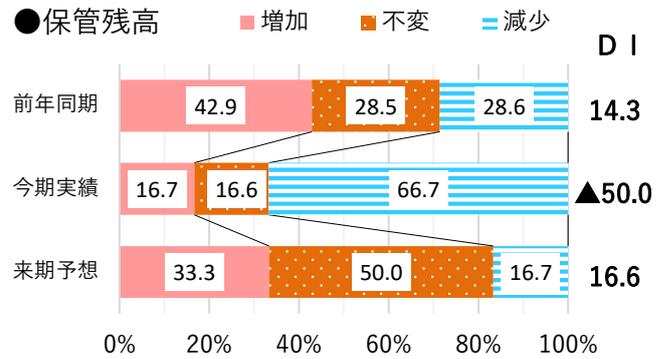
今期の出庫量DIは0.0で、前年同期と比べ14.3ポイント低下しました。

来期は、出庫量が大幅なプラスに転じると予想しています。



今期の保管残高DIは▲50.0で、前年同期と比べ64.3ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

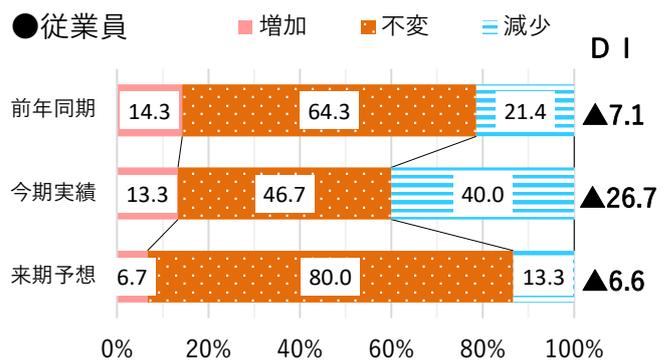
来期は、保管残高が大幅に増加し、プラスに転じると予想しています。



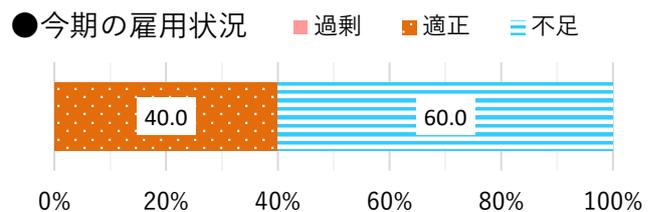
### 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲26.7で、前年同期と比べ19.6ポイント低下しました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は40.0%、不足していると回答した企業の割合は60.0%でした。



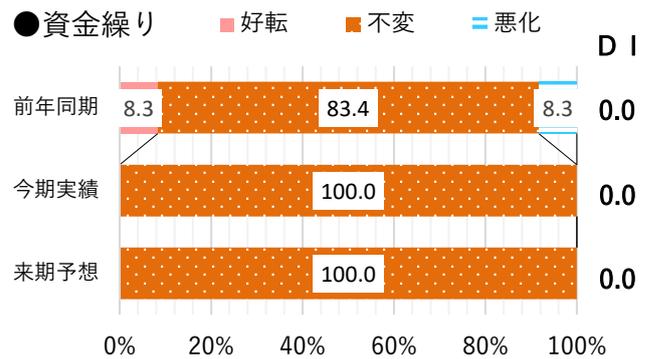
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」、「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」という回答で、33.3%を占めました。60.0%の企業は従業員不足と回答しています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	5
	不足	2
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	5

資金繰り、設備投資

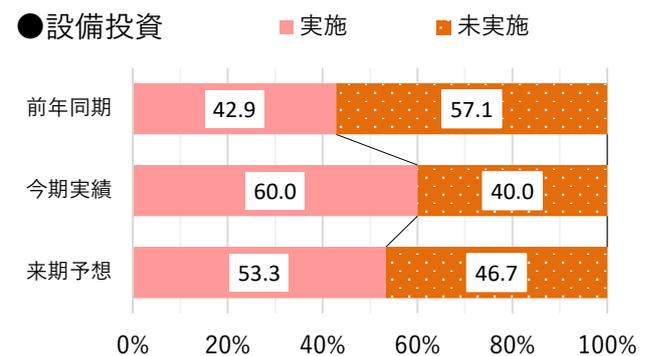
今期の資金繰りDIは0.0で、前年同期から変化はありませんでした。

来期も、資金繰りに変化はないと予想しています。



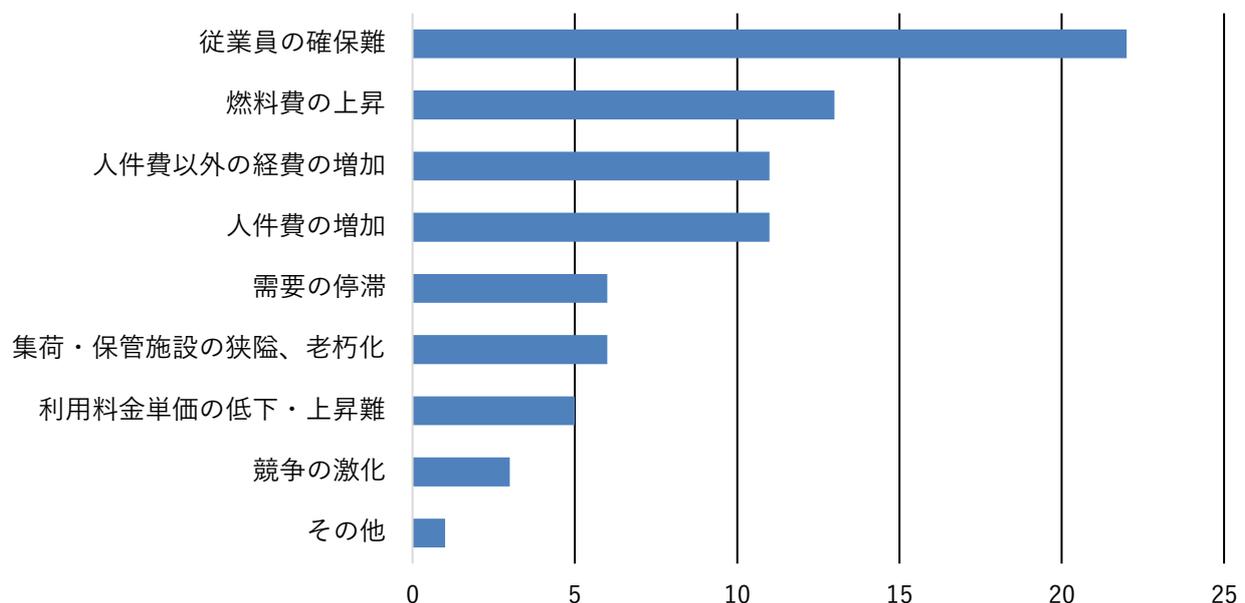
設備投資を実施した企業の割合は60.0%で、前年同期と比べ17.1%上昇しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「付帯施設」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は53.3%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「燃料費の上昇」、3位が「人件費以外の経費の増加」、「人件費の増加」（同位）の順です。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- 順調な荷動きとM A米の入庫により、貨物輸送と倉庫事業が順調に推移した。(道路貨物運送)
- 車両費、修繕費、部品代、フェリー代等全ての費用が大幅に上昇した。(道路貨物運送)
- 若干の人員増となったが、燃料費を始め企業物価の高騰により採算は厳しい。(道路旅客運送)
- 売上は増減したが、トータルでは昨年と変わりなかった。(道路旅客運送)
- 人材確保が課題だ。(道路旅客運送)
- 昨年比で冷凍水産物の入庫量が減少した。(倉庫)
- 人材確保ができていない。(倉庫)
- 旅客は旅行需要の増加や運賃改定、台風の影響を受けずに運航できたことで、売上が増加した。貨物もキャンペーンによる需要喚起で荷動きが良く、野菜関連が順調に動いたため、売上が増加した。(海運)

## [来期の業況について]

- ドライバーの退職による稼働減少が予想され、収益の減少を見込む。(道路貨物運送)
- 人材確保に努める。運賃の値上げを予定する。(道路旅客運送)
- 物価高騰により厳しい採算が続く。(道路旅客運送)
- 引き続き人材確保に苦勞すると思われる。(倉庫)
- 燃油価格が高止まりしているが、野菜関連が順調に動けば、前年度よりも売上は増加となる。(海運)